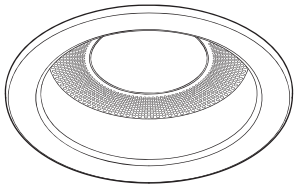


取扱説明書

住宅用照明器具 (スピーカー付ダウンライト・多灯用子器)

保管用

施工説明付き



LEDシリーズ

※対象品番は7ページの仕様欄を参照ください



お客様へ

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

ご使用前に「安全上のご注意」(1 ページ)を必ずお読みください。

この取扱説明書は大切に保管してください。

施工には電気工事士の資格が必要です。必ず、販売店、工事店に依頼してください。

本機器(多灯用子器)を使用する場合、必ず親器をご購入ください。

本機器(多灯用子器)は、Bluetooth[®] 機能を搭載していません。

Bluetooth[®] ワードマークおよびロゴは登録商標であり、BluetoothSIG, Inc. が所有権を有します。

パナソニック株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。

その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。(下記は図記号の一例です。)



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

警告



必ず守る

- 異常を感じた場合、速やかに電源を切る
異常状態が収まったことを確認し、販売店または別紙お客様ご相談窓口にご相談ください。
- 照射物近接限度内にドア開閉範囲や家具などの可燃物が近づかないように注意する
守らないと、照射物の変色、火災のおそれがあります。

照射物近接限度10cm

(ドア・家具・布などの可燃物)



禁止

- 音がひずんだ状態で長時間使用しない
スピーカーが発熱し、火災のおそれがあります。



分解禁止

- 器具を改造したり、部品交換をしない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

注意



必ず守る

- 照明器具には寿命があります。
設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。
点検・交換してください。
点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。
- ◎1年に1回は別紙「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。

- お手入れの際は電源を切る
通電状態で行うと感電の原因となる場合があります。



必ず守る

- 器具の取り外しは販売店、工事店に依頼する
器具の取り外しには資格が必要です。



禁止

- 温度の高くなるものを器具の真下に置かない
火災の原因となることがあります。
- ◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。
- LEDを直視しない
目の痛みの原因となることがあります。

■施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。この説明書は必ずお客様にお渡しください。
 ■施工説明に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

施工説明

安全上のご注意

必ずお守りください

警告

■天井

●次のような場所には取り付けない

火災、落下によるけが、天井材破損、振動、音漏れのおそれがあります。

- ・強度のない薄い天井面
- ・ロックウールなどのやわらかい天井面
- ・傾斜した天井面
- ・システム天井

◎この器具は天井面埋め込み専用です。
 ◎石こうボード(9mm以上)に取り付けできます。

●特殊な断熱・遮音・防音施工された天井には取り付けない

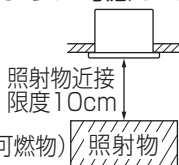
過熱して火災のおそれがあります。

日本照明工業会SB・SGI・SG形適合品
 マット敷工法 ブローイング工法



●照射物近接限度内にドア開閉範囲や家具などの可燃物が近づかないように考慮して取り付ける

守らないと、照射物の変色、火災のおそれがあります。



(ドア・家具・布などの可燃物)

●本体を埋込穴に確実に押し込む

押し込みが不十分な場合、ガタツキ、器具落下のおそれがあります。

■その他

●屋内配線の電源、ケーブルなどは器具に接触させない

火災のおそれがあります。

■壁スイッチ

●照明用電源と接続する調光器は当社製適合ライトコントロールを使用する

指定以外のライトコントロールと組み合わせて使用すると、火災のおそれがあります。

◎ライトコントロールの注意事項についてはライトコントロールの説明書をご確認ください。
 当社製適合ライトコントロール
 ・ライトコントロール(起動方式LB対応用)

●調光機能が付いた壁スイッチとスピーカー用電源を接続しない

火災のおそれがあります。

■その他

●周囲温度は、5℃～35℃の範囲で使用する
 指定外の周囲温度で使用すると、火災または短寿命の原因となります。

●器具の取り付けは、説明書に従い確実にを行う

取り付けに不備があると火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

●交流100ボルトで使用する

過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。

●電源線は端子台カバーの上から端子台の差込穴の奥まで確実に差し込む

端子台カバー外れや差し込みが不完全な場合、火災、感電のおそれがあります。

●送り総容量は4A以下にする(照明器具専用)

火災のおそれがあります。

注意

●浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない

火災、感電の原因となることがあります。

◎この器具は防湿、防雨型ではありません。

●温度の高くなるものの上に取り付けない

火災の原因となることがあります。

◎レンジなど温度の高くなるものの上に取り付けしないでください。

●照明用電源とスピーカー用電源を重ね置きしない

寿命低下の原因となることがあります。



禁止



必ず守る



禁止



必ず守る



禁止



禁止



水ぬれ禁止



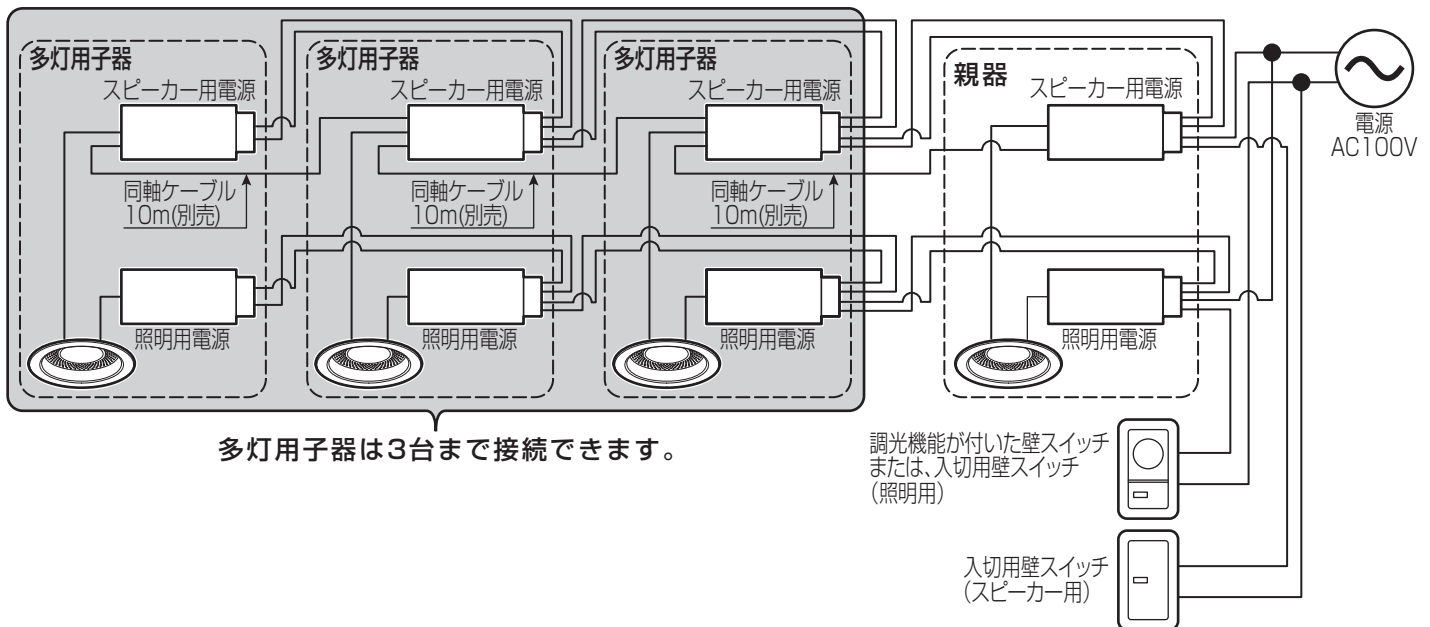
必ず守る

施工前のご確認事項

- 事前に同軸ケーブル（別売：LGK02900、10m）を先行配線してください。
同軸ケーブルには誤配線防止のために「同軸入力側」「同軸出力側」のラベルを貼っています。
- 必ず壁スイッチを設けてください。
・調光機能が付いた壁スイッチとスピーカー用電源を接続しないでください。
・点灯消灯させたり、お手入れの際に電源を切ることができます。
- 照明をほたるスイッチと接続する場合は1回路につきスイッチ3個まででご使用ください。
4個以上のほたるスイッチと接続すると、スイッチを切にしても器具が消灯しないことがあります。
- LED照明器具を送り配線する場合は、ライトコントロールの最大負荷容量かつ接続可能台数まででご使用ください。
- システム天井などの吸音性や防振性が低い天井に器具を取り付けしないでください。
スピーカーの音漏れや振動が階上の床面に伝わりやすくなります。
- スピーカー部を吊り木や野縁受けなどの天井裏の構造部材に触れさせないでください。
スピーカーの振動が階上の床面に伝わりやすくなります。
- 1台の親器に対して、接続できる多灯用子器は3台までです。
- 親器（または多灯用子器）と多灯用子器の推奨設置距離（音が空間全体にバランスよく広がる距離）は6m以下です。
- 照明器具の送り総容量（照明器具専用）は4A以下です。ご使用されるスイッチなどにより総容量が制限される場合があります。スイッチなど、最大負荷および、接続可能台数をご確認いただき、その範囲内でご使用ください。

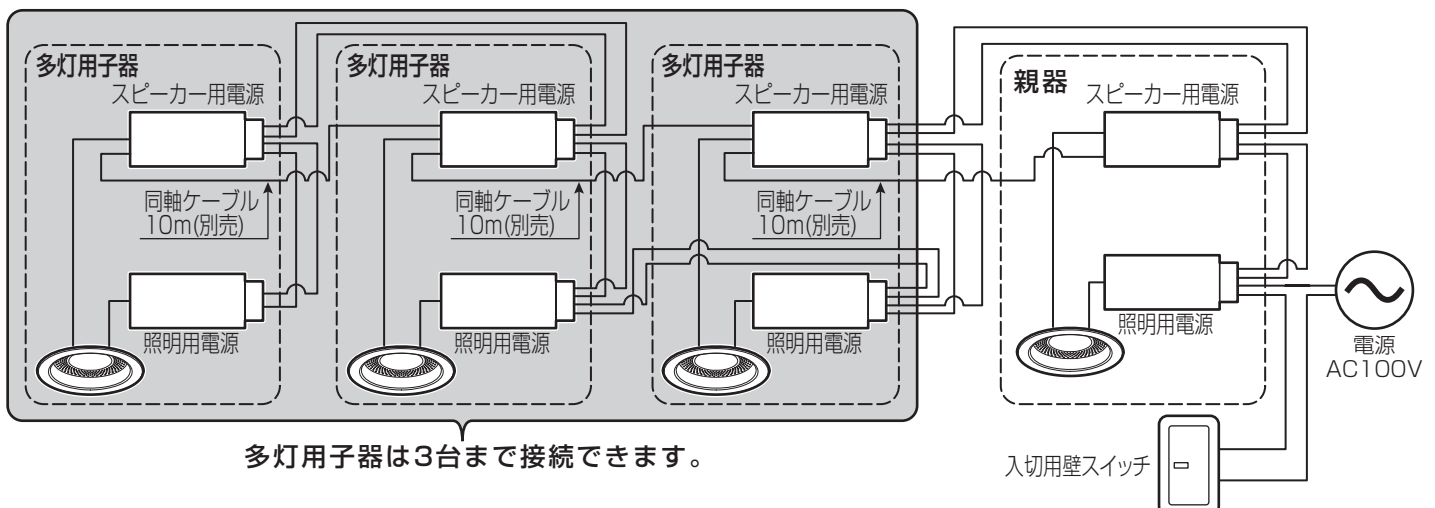


■ 親器と多灯用子器の照明部とスピーカー部の壁スイッチを分けて使用する場合



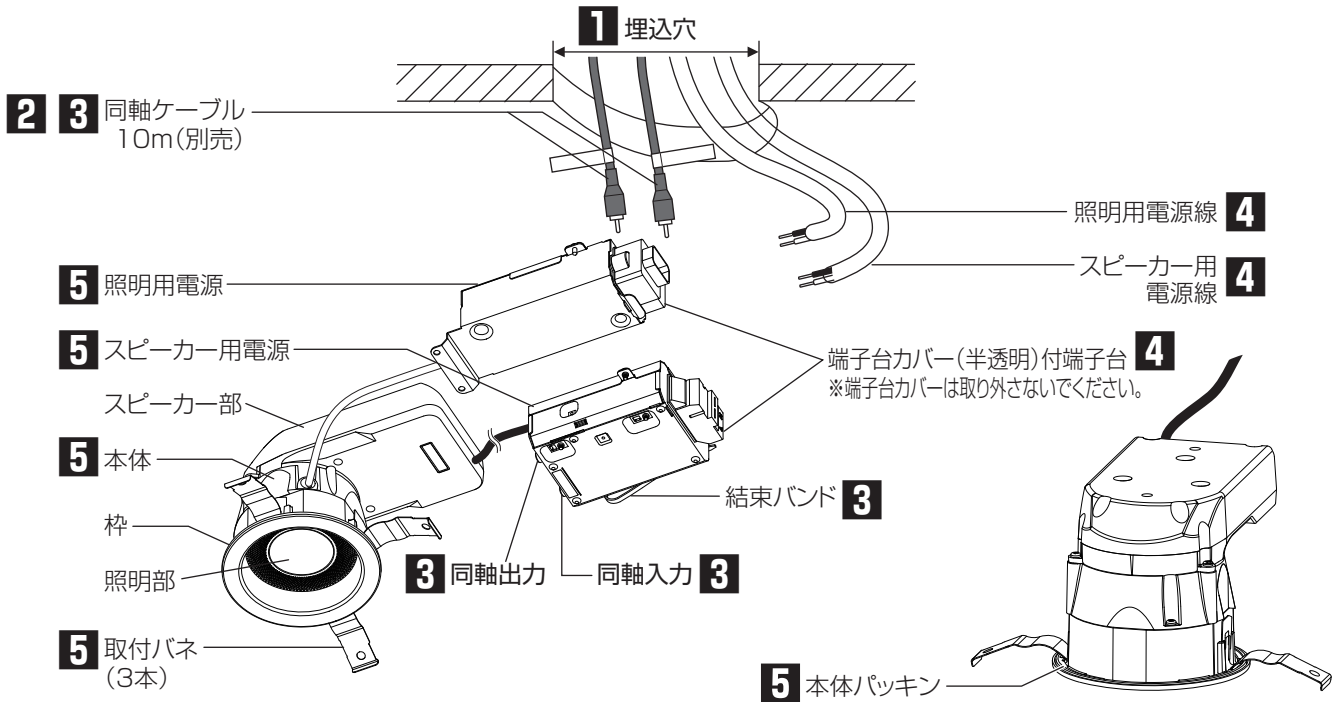
■ 入切用壁スイッチ1個で照明部とスピーカー部を使用する場合

- ・照明部とスピーカー部を個別に操作することはできません。
- ・調光機能が付いた壁スイッチと接続しないでください。
- ・入切用壁スイッチ1個に接続できるのは、スピーカー用電源4台と照明用電源4台の合計8台までです。



取り付け前のご注意

- ・事前に同軸ケーブル（別売：LGK02900、10m）を先行配線してください。
同軸ケーブルには誤配線防止のために「同軸入力側」「同軸出力側」のラベルを貼っています。
- ・施工時、埋込高さは100mm以上必要となります。
- ・同軸ケーブル（別売：LGK02900）の長さは10mです。親器（または多灯用子器）と多灯用子器の埋込穴間隔にご注意ください。
- ・表面に凹凸のある天井の場合は、気密性が損なわれるおそれがありますので、平面に仕上げてください。
- ・器具の取り付けは、手袋など保護具を使用してください。
- ・親器のステレオ/モノラル切替スイッチを「モノラル」側へ切り替え、同軸ケーブル（別売）を親器（または多灯用子器）の同軸出力と多灯用子器の同軸入力に接続してください。



※これは一部簡略化した図です。

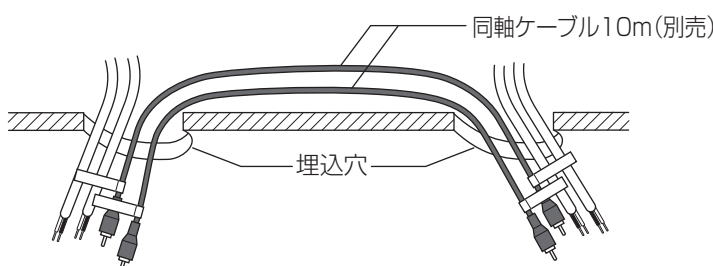
1 天井に埋込穴をあける

・下記寸法の埋込穴をあける

天井の厚さ	埋込穴寸法
5mm以上 25mm以下	φ100 ± 1mm

◎指定寸法でない場合、すき間が空き気密性が保たれないおそれがあります。
精度よく穴をあけるために、ダウンライトカッターの使用をおすすめします。

2 同軸ケーブルを埋込穴から出す

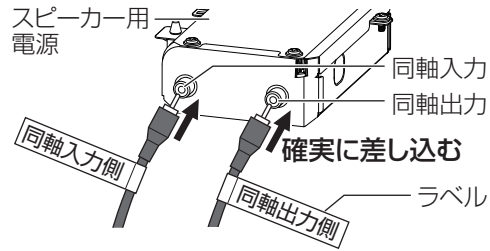


3 同軸ケーブルを接続する

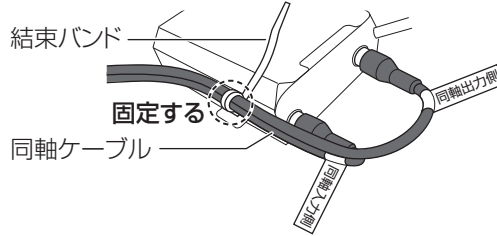
- 同軸ケーブルに貼っているラベルを確認し、スピーカー用電源(親器または多灯用子器)の同軸出力とスピーカー用電源(多灯用子器)の同軸入力に確実に接続する

注意

同軸ケーブルの入出力端子を差し間違えないでください。本器具(多灯用子器)から音が鳴りません。



- スピーカー用電源(親器・多灯用子器)の結束バンドで同軸ケーブルを固定する



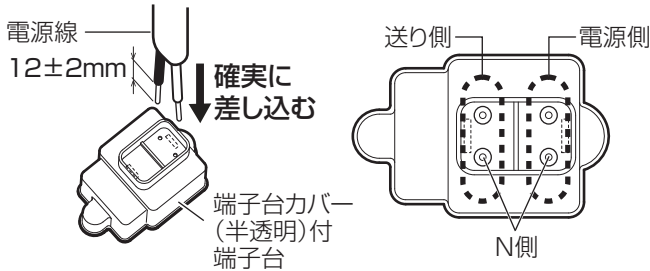
4 端子台に電源線を接続する

警告

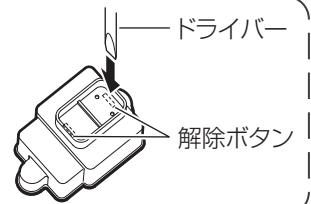
- 調光機能が付いた壁スイッチとスピーカー用電源を接続しないでください。
- 端子台カバー(半透明)付端子台に電源線を確実に差し込む(端子台カバーは外さずそのまま差し込んでください)
- 送り総容量は4A以下です。守らないと、火災のおそれがあります。

・適合電線：VVFφ1.6、φ2.0単線

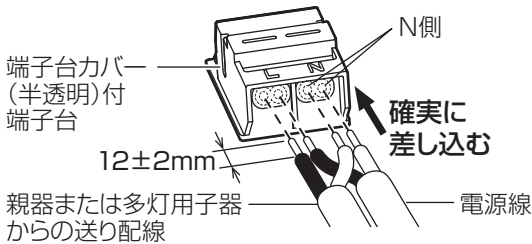
照明用電源側端子台



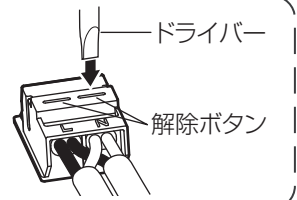
器具の取り替えなどで電源線を外す場合は、マイナスドライバーなどで解除ボタンを押しながら電源線を引き抜く。



スピーカー用電源側端子台



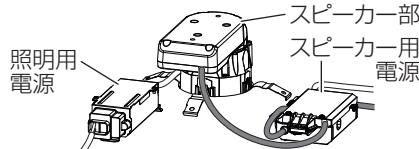
器具の取り替えなどで電源線を外す場合は、マイナスドライバーなどで解除ボタンを押しながら電源線を引き抜く。



5 本体を埋込穴に取り付ける

注意

- 照明用電源、スピーカー用電源は器具や周囲の金属に触れさせないでください。
- 照明用電源とスピーカー用電源を重ね置きしないでください。



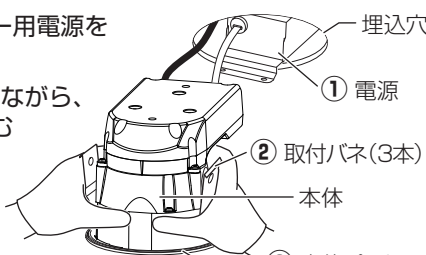
- 照明用電源とスピーカー用電源を埋込穴に入れる

- 取付パネ(3本)を押さながら、本体を埋込穴に押し込む

- 本体パッキンが枠からはみ出していないことを確認する

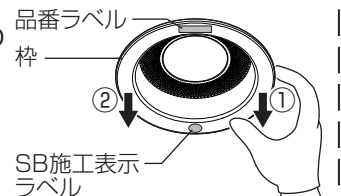
※はみ出ている場合は

マイナスドライバーなどで本体パッキンを枠内に押し込むこと



器具を取り外す場合

- 枠を①、②の順にゆっくり引き下げる
 - パネ(3本)を押し曲げて埋込穴から外す
- 注) 天井材を破損しない様にご確認ください。



ご使用上に関するお知らせ

故障や異常ではありません

【器具自体の留意点】

- Bluetooth® 機器や音楽、動画によっては、音割れや雑音が発生することがあります。
その場合、Bluetooth® 機器側で音量をさげてください。
- Bluetooth® 機器側の音質調整で低域や高域を上げすぎると音がひずむことがあります。
その場合、Bluetooth® 機器側の設定を調整してください。
- スピーカー部の壁スイッチがONの場合、音声停止時も待機時消費電力を消費しています。
- 点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
- LEDにはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- LED光源は、通常のランプのようにお客様自身でのお取り替えはできません。
- 複数灯を同時に点灯させる場合、始動時間にバラツキが生じる場合があります。

【周囲の影響】

- 器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
- 器具の近くでは、バーコードリーダーが正しく読み取れないおそれがあります。
- 水のかかる場所や直接油煙・湯気のかかる場所に設置しないでください。音質が劣化する可能性があります。
- スピーカーに磁気の影響を受けやすいものを近づけないでください。スピーカーの磁気の影響でキャッシュカードや定期券、時計などが正しく機能しなくなることがあります。
- スピーカーの音量を上げすぎるとスピーカーの振動が階上の床面に伝わりやすくなります。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。
適度の音量にして隣り近所へ配慮しましょう。
特に静かな夜間には窓を閉めるのも1つの方法です。



音のエチケット
シンボルマーク

お手入れについて

安全のため、電源を切ってから行ってください

- 明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に1回程度）に清掃してください。
- 汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。

確認

シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損、音質低下の原因となります。

故障かな?と思ったら

下表に従って点検してください

現象	考えられる原因	処置	参照ページ
本器のスピーカーから音が鳴らない	・同軸ケーブルが外れている ・同軸ケーブルの入出力端子を差し間違えている	ご購入の販売店、工事店、お客様ご相談窓口にご相談する	5ページ 「各部のなまえと取り付けかた」 3 「同軸ケーブルを接続する」

仕様

品番は器具のラベルをご参照ください

品番		LED		使用電圧	周波数	消費電力	入力電流		
枠:ホワイトつや消し	枠:ブラックつや消し								
LGD1118NLB1	LGD1152NLB1	昼白色	マイルド 拡散 タイプ	AC 100 V	50/60 Hz共用	13.9W (照明動作時 6.9W スピーカー動作時 7.0W 待機時状態 (20分以内) 1.2W 待機時状態 (20分以降) 0.8W)	0.21A (照明動作時 0.07A スピーカー動作時 0.13A)		
LGD1118VLB1	LGD1152VLB1	温白色							
LGD1118LLB1	LGD1152LLB1	電球色							
LGD1138NLB1	LGD1172NLB1	昼白色	集光 タイプ						
LGD1138VLB1	LGD1172VLB1	温白色							
LGD1138LLB1	LGD1172LLB1	電球色							
LGD3118NLB1	LGD3152NLB1	昼白色	マイルド 拡散 タイプ			AC 100 V	50/60 Hz共用	17.9W (照明動作時 10.9W スピーカー動作時 7.0W 待機時状態 (20分以内) 1.2W 待機時状態 (20分以降) 0.8W)	0.25A (照明動作時 0.11A スピーカー動作時 0.13A)
LGD3118VLB1	LGD3152VLB1	温白色							
LGD3118LLB1	LGD3152LLB1	電球色							
LGD3138NLB1	LGD3172NLB1	昼白色	集光 タイプ						
LGD3138VLB1	LGD3172VLB1	温白色							
LGD3138LLB1	LGD3172LLB1	電球色							

●LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。(照明器具の寿命とは異なります。) 光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

アンプ	実用最大出力	10W(1kHz,T.H.D 10%,6Ω,20kHz LPF,JEITA)
スピーカー	形式	1ウェイ1スピーカー 密閉型
	使用スピーカー	5cmコーン型フルレンジ ×1
	インピーダンス	6Ω

